

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・今月は週末だけでなく、平日の昼も夜も県外からの来客が多い。
		百貨店(営業担 当) スーパー(店 長)	お客様の様子 単価の動き	・改装後の新しいショップなどがようやく認知され始め、リピーター客をよく見受けられるようになった。 ・客単価がやっと前年並みになりつつあり、客の購買意欲が若干わいてきたように感じる。来客数はすでに前年をクリアしている。
		コンビニ(経営 者)	お客様の様子	・従来当店の主力客はサラリーマンであったが、最近は今まで見なかった道路工事関係の来客が増加し、客単価が上昇している。
		観光型旅館(経 営者)	販売量の動き	・7月に入ってから、夏休みの家族客を中心に予約数が増加している。同業者の動きも同様である。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・3か月前に比べて、レストラン部門は利用客の減少により下回る見通しであるが、観光客を中心に増加した宿泊部門、中小宴会の件数が増加した宴会部門などで増収となり、全体では前年を上回る見込みである。
	変わらない	商店街(代表 者)	来客数の動き	・来客数が少なく、客に高額品を買う気持ちがない。
		一般小売店[果 物](経営者)	来客数の動き	・贈答用の購入が少ない。
		スーパー(店 長)	販売量の動き	・7月は日曜日が昨年より1日少ないため、この分を調整して比較すると、3か月前とあまり変わらない。また、今月は季節商品が落ち込み、特に水着を代表とする水回り関連が昨年に比べて非常に悪い。 ・食品には大きな変化がないが、7月の催事である土用のうしはウナギの産地表示問題から相場が高騰し、浜名湖産が不足したため、前年の売上を下回っている。
		スーパー(総務 担当)	単価の動き	・単価が低下しているため売上高は前年を割っているが、来客数、販売数量は前年並みである。
		スーパー(営業 担当)	単価の動き	・一品単価は下げ止まりであるが、買上点数が特に伸びないため、客単価は横ばいとなっている。来客数は日中の時間が長いせいか、若干増加している。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・例年7月はボーナス需要により、若干の高額商品や普段売れない商品がそれなりに売れていくが、今年は少ない。
		その他専門店 [酒](経営 者)	販売量の動き	・7月の売上は中元のため増加したものの、前年との比較では3割減少している。
		観光型旅館(ス タッフ)	来客数の動き	・夏場は個人客が通常月より多くなるため、客単価は前年比で5%弱低下しているが、その分を来客数でカバーし、売上では若干上回っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・金曜日、土曜日の繁華街の人は若干増加し、売上も安定してきたが、平日の売上は全く増加せず、給料日も低迷している。全体で見ると変わらない。
タクシー運転手	販売量の動き	・目標の運賃収入を確保するため、残業時間をかなり延ばしている。		
通信会社(営業 担当)	単価の動き	・売上比率の向上を狙って、高価格商品を値下げして販売するが、客の反応はいまひとつ活発でない。		
競輪場(職員)	お客様の様子	・最近特に目立つのは座席指定入場者の6割近くが最終レースの一つ手前で帰ってしまうことである。駐車場での混雑を避けるためとも考えられるが、やはり懐が寂しいためとみられる。		
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・展示場の来場者や商談客の数は非常に少なくなっているが、逆に受注単価が大きくなっているため、販売量では変わらない。		
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・例年の春先と同様に、今月も30歳前後の建築主を中心に小口の戸建て住宅が活発に動いている。		
やや悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・今月のパーゲンは各店がバラバラにスタートしたためインパクトがなかった。また、今年の7月は昨年に比べて、日曜、祭日が2日間少なかったため、全般的に苦戦している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔鮮魚〕(店長)	単価の動き	・買上点数の減少に伴い、客単価が低下している。客の買物の仕方をもみても積極性がなく、必要なものを必要な量だけ購入している。
		乗用車販売店(経理担当)	販売量の動き	・ここ3か月は完全に前年割れが続いている。小型車の牽引により大きなマイナスにはなっていないが、特に法人相手の大型車の売行きが悪い。
		自動車備品販売店(従業員)	単価の動き	・1人当たり買上点数が減少している。
		高級レストラン(スタッフ)	販売量の動き	・春先から好調だった団体旅行による利用が大幅に減少している。また、夏休みのファミリー需要が例年より少ない。
		一般レストラン(店長)	お客様の様子	・最近では客の知識が向上し、寿司に対して厳しい目を持った寿司通と言える客が非常に多くなっている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・予想どおり、ボーナスカットなどの影響が尾を引いているため、いつもこの時期に来店する団体客や個人客の顔が見えない。団体客は従来の7~8割と低調なままで、全体の売上は例年の8割程度である。今月末に閉店する同業者もいる。
		旅行代理店(従業員)	単価の動き	・ライバル社が地元空港へ新規に乗り入れたため、通常運賃の1万5,000円が1万円になるなど、25~35%の割引が競争2社で行われている。
		テーマパーク(経営者)	単価の動き	・土産品などの購入が少なく、また購買単価が極端に低下している。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・観光コースが金沢のイベントに流れ、団体の立ち寄りが弱みであることに加え、ファミリー客の動きがかなり鈍いため、来客数は前年同月比で約5%減少している。
		悪く なっている		百貨店(営業担当)
百貨店(営業担当)	お客様の様子			・カジュアル商品は普通の動きであるが、ファッション性の高い夏季商品は相変わらず落ち込んでおり、例年の8割程度である。
乗用車販売店(経営者)	来客数の動き			・店頭やフェアへの客足は極端に少なくなっている。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている 変わらない	-	-	-
		通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・民需を中心に今まで滞っていた案件が動き出し、小さいSOHO系の案件も徐々に動き始めた。
		繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・秋冬物の生産の終盤に入っているが、小ロットながら8月末の納期までは多忙である。
		金属製品製造業(経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・住宅、ビル用建材のうち一部の価格は戻りつつあるが、一般的に価格は厳しい。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合いから注文まで、注文から実質出荷までの期間をそれぞれ短縮してほしいという取引先の要求が、1、2か月前からみられる。前者では、従来の3~6か月が現在では1か月以内となっている。
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・公共土木工事の発注量の減少が顕著で、土木部門の人員に余剰感がある。反面、民間建築の受注が増加しており、建築部門の人員不足が生じている。
		輸送業(配車担当)	取引先の様子	・受注量は3か月前よりかなり増加しているが、前年との比較では飲料関連が暑い天候の割に全く動かない。
		輸送業(配車担当)	受注価格や販売価格の動き	・競争相手の荷物の量も少なく、依然として受注価格の下げ止まりがみられない。
		不動産業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・リストラの推進、倒産の増加、時価会計導入を視野に入れた遊休不動産の売り急ぎ、銀行の不良債権処理の促進など、不動産価格を引き下げる要因が目白押しであり、8月の路線価も大幅に下がる。
		新聞販売店〔広告〕(従業員)	受注量や販売量の動き	・折込チラシの申込件数は前年実績をクリアできない状態で低迷している。
司法書士	取引先の様子	・相変わらず商業登記、不動産登記のいずれの分野においても、新たな事業展開や積極的な経営にかかわる仕事の要請がない。		
やや悪く なっている				

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・従来も県内の建設業の倒産は増えていたが、この1か月間に身近な同業者2社が倒産した。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人を出す側の企業からのアプローチが積極的になり、件数も具体的に増加している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・3か月前の求人広告件数は前年同月比で7割強であったが、今月は8割強にまで回復している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・前月の求人広告の売上は久しぶりに前年並みの水準に回復したが、今月も同様である。
	変わらない	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求職者数に減少の動きが出始め、求人も一部で上向きになりつつある。一方で、求職者の採用基準が非常に厳しくなり、就職しにくい環境になっている。
やや悪くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人の受注件数が3か月前に比べて10%程度減少している。	
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・当月の求人票到着件数は前年同月比で県内が52%減、県外が67%減となり、過去3年間で最悪の状況である。	
	悪くなっている	-	-	-